

未成年者飲酒防止強化月間に因んで



曙クリニック 玉井 修

昨年から未成年者集団飲酒による補導のニュースが多く新聞紙上を賑わしています。3月、4月と卒業や入学を期に更に未成年飲酒の補導が増え、更に危惧するのは新入生歓迎コンパ等での一気飲みで急性アルコール中毒によって前途洋々たる優秀な若者が命を失う事態を危惧しています。飲酒運転撲滅運動は県民運動として盛り上がりを見せ、大きな成果を上げたことは問題意識を社会全体で共有できれば社会を良くできるという事を印象づけました。飲酒天国や飲酒に寛容と言われ、飲酒にまつわる様々な問題を抱える沖縄県において、継続して飲酒に関する弊害を訴え、社会認識を高めていく試みは忍耐強く続ける必要があります。安謝小学校の校医をしている関係で、昨年の夏に小学校6年生を対象に未成年飲酒の危険性について講演する機会を得ました。約1時間の講演の間、小学生には法律で禁じられているからダメという話より未成年飲酒による様々な弊害を理解して貰うことに努めました。自分を大切にすること、育む事によって飲酒をしないという選択を自発的に選んで欲しいと願ったためです。講演会において用いたスライドで講演内容を簡単に説明しましょう。

小学校での講演会

飲酒をはじめて経験する場面とはどのような場面でしょうか？皆さんもよ～く思い出してみてください。はい、そうです。ほとんどはお正月やお盆の時に親に勧められて飲んだのが始まりです。これは全国データでもしっかり出てきています。ですから、まず講演会の冒頭に居酒屋などへ家族で出かけ、親が飲酒のきっかけを作

らないように釘を刺します(表1)。そして、飲酒が未成年にとって如何に危険かを説明します。特に脳の発達には悪影響を及ぼし、イチローなどの一流選手は運動神経もさることながら明晰な頭脳がなければ一流の運動選手にはなり得ないと力説しますと男の子などは真剣な眼差しでこちらを見つめます(表2)。そんな問題のある飲酒を何故大人は許されるのか？そんな素朴な疑問が湧いてきます、ここで大人は体が出来上がっているから構わないのだと逃げを打つことはしません。飲酒は大人にとっても弊害

ご父兄の皆様へお願い

- 未成年にお酒を勧めないでください。
- 頻繁に居酒屋さんで夕食を食べに行くと、未成年は飲酒と喫煙と飲酒運転を日常的に見学してしまいます。
- 隠れて飲酒するよりも親の前で堂々と飲酒させた方が良いなどと変な理屈を言っていると、しっかり隠れてお酒を飲み始めます。

表1

どうして未成年はダメ!なのか?①

- 未成年はアルコール分解能力が未発達

- アルコールは脳の神経細胞を破壊する
→ 集中力・記憶力の低下 → 成績不振へ
- 性腺の萎縮
→ 不妊症(将来赤ちゃんが出来にくい体質になってしまう。)
- アルコール依存症になりやすい
← お酒無しではいられない体質になってしまう。

表2

は大きい事を素直に認めてしまいます(表3)。飲酒の弊害の中で、喧嘩や交通事故の問題も取り上げます。実際に救急病院で遭遇した症例の話をするると子供達は真剣に聞き入ります。酒を飲んで喧嘩をして指を骨折したギタリストの話、一気飲みによる急性アルコール中毒で10年間に70人の新入大学生が死亡している事を話します(表4)。そして最後に小学生に対して自分自身を大切にすることを訴えます。学力試

験で成績が悪かったりと、様々な教育現場での問題が取りざたされる昨今ですが、自分自身を大切にし、他人を思いやる気持ちを何よりも大切に育てたいと訴えます(表5)。実際に講演会ではもう少し図表を交えて、小学生にも解りやすくしてあります。もし先生方で講演会などでお使いになりたいというご希望がありましたら那覇市医師会事務局のライブラリーにありますのでCD-ROMでデータをお貸ししています。先生方がお好きなようにモディファイしてご利用いただけたら幸甚の至りです。

お酒は大人にも良くない

- 判断力の低下:飲酒運転で交通事故(沖縄県は特に飲酒運転は社会問題)
- 様々な病気:肝機能障害、高血圧、糖尿病、痛風、胃潰瘍、不眠、うつ病、アルコール依存症(飲酒の害は20年後に出現する)
- アルコール依存症:
 - ①お酒を飲みたい気持ちが抑えられない。
 - ②お酒を飲まないと落ち着かない。
 - ③仕事を休んでもお酒を飲む方を優先する。
 - ④体に良くない事を解っていても止められない。

表3

「飲酒は、ダメ。」まとめ

- **臓器の問題**
脳・性腺・骨などに影響が出る。特に脳への影響は深刻で記憶力・判断力などが低下する
- **行動の問題**
酩酊や泥酔から、けんか、交通事故などを起こす危険性が高くなる
- **急性アルコール中毒**
アルコールの分解が遅いことから、昏睡状態など危険な状態、ときに死亡も。
- **アルコール依存症**
年齢が早いうちに飲み始めるほど、依存症などのアルコール関連問題のリスクが高くなる。
- **ゲートウェイになりうる**
アルコールはタバコとともに、よりハードなドラッグのほうに行く入門薬となる可能性がある。

表4

安謝小学校の児童の皆様へ

- 皆さん一人一人はたくさんの可能性を秘めています。僅かなテストの結果で皆さんの評価なんか出来ません。
- 自信を持って、自分を大切にしてください。
- 今も、生まれつき多くの障害を背負った子供達が必死に自分の可能性に挑戦しています。皆さんが出来ないことは何もないと思います。

表5

沖縄県警察本部からの資料

さて、ここまできて、頻繁に報じられる未成年飲酒の問題は単にマスコミが騒いでいるだけなのか、それともかなり深刻な問題なのかをもう少し深く検討してみたいと思い、県警本部に問い合わせ資料を頂きました。(県警資料1~5)。これを見ると、沖縄県は統計が出ている平成13年以降、未成年飲酒補導は全国の約10倍という恐ろしい実態が浮かび上がります。深夜徘徊、飲酒、喫煙により中学生、高校生が午前0時を過ぎた時間帯に多く補導されています。また、調査範囲はまだ充分ではないのですが、お酒の入手先としてコンビニ・スーパーなどからお酒を購入している場合が多いとのこと。全国データでは、お酒は自宅からの持ち出しが多かった事と比較して、沖縄の未成年飲酒を助長しているのは深夜営業のコンビニ・スーパーである可能性が示唆されます。コンビニ・スーパーの特に深夜帯における未成年に対するお酒類の販売をしっかりと監視するシステム作りは有効かも知れません。そして何より、未成年者がそんな深夜帯まで夜間徘徊することを許容する家庭自体が病んでいます。安謝小学校でのアンケートでは未成年飲酒に関して家庭で話をしたことがあるかどうかの問いに対して、約6割の子供達が家庭での話し合いがあったと答えています。未成年飲酒の問題は、まずその危険性をしっかりと伝える事、そしてその事に対して家庭で大人と子供達が真剣に話し合いを持

//////////////////////////////// 月間(週間)行事お知らせ //////////////////////////////////

つ必要があると思います。家庭という社会を構成すべき分子構造が崩壊し、子供に無関心な親、自分を大切に出来ない子供、お互いに思いやることの出来ない子供がバラバラになって社

会の中に秩序無くさまよっています。未成年飲酒の問題は家庭機能の崩壊が招いた一つの枝葉に過ぎません。もっともっと深刻な問題が根深くこの沖縄の社会を蝕んでいるのです。

沖縄県警察本部からの提供資料

沖縄県の不良行為少年の補導状況

(1) 主な行為別

| | 総数 | 飲酒 | 喫煙 | 深夜徘徊 | 家出 | 無断外泊 | 怠学 | その他 |
|---------------------|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------|--------------|----------------|----------------|
| 平成19年12月末 (うち女子) | 36,801 (9,007) | 3,284 (942) | 11,029 (1,762) | 19,518 (5,399) | 151 (90) | 522 (165) | 1,203 (426) | 1,094 (223) |
| 平成18年12月末 (うち女子) | 37,860 (9,077) | 4,065 (1,108) | 11,433 (1,625) | 18,602 (5,227) | 140 (84) | 544 (231) | 1,502 (508) | 1,574 (294) |
| 増減 (うち女子) | -1,059 (-70) | -781 (-166) | -404 (+137) | +916 (+172) | +11 (+6) | -22 (-66) | -299 (-82) | -480 (-71) |

(2) 沖縄県の少年の飲酒補導の実態

| | 沖縄県 | 人口比 | 全国 | 人口比 |
|-------|-------|------|--------|-----|
| 平成18年 | 4,065 | 16.5 | 29,288 | 1.7 |
| 平成17年 | 4,111 | 16.6 | 30,500 | 1.8 |
| 平成16年 | 4,836 | 19.2 | 35,574 | 2 |
| 平成15年 | 4,847 | 19 | 36,291 | 2.2 |
| 平成14年 | 4,396 | 17 | 33,407 | 1.8 |
| 平成13年 | 3,694 | 14.2 | 30,577 | 1.7 |

全国の9.7倍

(3) 飲酒補導少年の学校・職業別

| | 総数 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 大学生 | その他の学生 | 有職少年 | 無職少年 |
|----------------|----------------|--------|------------|--------------|-----------|-----------|------------|--------------|
| H19年 (うち女子) | 3,284 942 | 0 | 379 215 | 951 282 | 90 18 | 99 36 | 526 69 | 1,239 322 |
| H18年 うち女子 | 4,065 1,108 | 4 1 | 569 239 | 1,170 320 | 100 22 | 104 34 | 640 105 | 1,478 387 |

(4) 飲酒少年の年齢別補導状況

| | 総数 | 8才以下 | 9才 | 10才 | 11才 | 12才 | 13才 | 14才 | 15才 | 16才 | 17才 | 18才 | 19才 |
|--------------|----------------|--------|----|-----|-----|---------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| H19年 うち女子 | 3,284 942 | | 0 | 0 | 0 | 10 7 | 89 58 | 145 86 | 395 160 | 790 210 | 735 173 | 733 163 | 387 85 |
| H18年 うち女子 | 4,065 1,108 | 1 1 | 0 | 0 | 0 | 20 9 | 102 39 | 224 101 | 621 235 | 812 239 | 770 148 | 914 203 | 601 133 |

(5) 飲酒補導時間帯

| | 総数 | 06:00 08:00 | 08:00 10:00 | 10:00 12:00 | 12:00 14:00 | 14:00 16:00 | 16:00 18:00 | 18:00 20:00 | 20:00 22:00 | 22:00 24:00 | 00:00 02:00 | 02:00 04:00 | 04:00 06:00 |
|--------------|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| H19年 うち女子 | 3284 942 | 219 55 | 61 15 | 41 13 | 29 7 | 52 25 | 45 22 | 142 55 | 134 37 | 385 84 | 625 179 | 919 268 | 632 182 |
| H18年 うち女子 | 4065 1108 | 199 30 | 55 13 | 50 13 | 15 5 | 67 30 | 141 56 | 132 48 | 191 59 | 436 108 | 888 221 | 1,279 305 | 612 220 |

世界保健デー 「気候変動から健康を守る」



中央保健所 宮川 桂子

4月7日は、世界保健デーです。WHOは今年のテーマを、「気候変動から健康を守る」としました。日本では、温室効果ガスの排出量を制限する京都議定書、アル・ゴアの「不都合な真実」などを通じて気候変動はそれなりに問題との認識は浸透してきていると思われませんが、果たして個人の生活レベルではどうでしょう。私自身、環境問題は政府や企業が考えるべき問題、との認識でした。これを機会に、少し勉強してみました。

まず、気候変動とその影響はどのようなことを言うのでしょうか。「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC: Intergovernmental Panel on Climate Change) という専門家集団が昨年出した第4次評価報告書(The AR4: the Fourth Assessment Report) に基づいて、国連環境計画(UNEP) は年報で次のように述べています。

温暖化

地球温暖化は、疑いの無いものである。その原因とされる、温室効果ガス(GHG: Greenhouse Gas)の主体であるCO₂レベルの上昇は、1990年から1999年のCO₂増加率が1.1%であったのに対して、2000年から2005年では、3.3%に上昇した。このため、1906年から2005年の100年の間に、地表面の気温は0.74度上昇した。今後、気温は、10年当たり0.3~0.4の上昇は続くものと考えられている。

降水量のパターンや暴風気候

湿度や降水量の変化も、人間の活動によると考えられている。アメリカの科学者は、ハリケ

ーンの頻度が、1900年ごろに比べて倍増していると推論している。また、風速175Km/h以上の強いハリケーンも著しく増加している、としている。

海面の上昇

海面も予想以上の速さで上昇している。原因として、氷河や氷冠(50,000km²以下の面積を覆う氷)の解凍と、水温の上昇による膨張によると考えられる。過去一世紀にわたる海面の上昇曲線から、今世紀中に、海面は0.5~1.4m上昇すると推測されている。

一方、北極海の海水は、2007年観測史上もっとも小さくなり、6月から7月にかけて高気圧が上空に居座り、海水表面の露出が進んだ。そして、今世紀後半には、夏場には、北極海に海水がなくなると予想されている。

生物の多様性への影響

過去5億2千万年の化石の研究によって、気候の温暖化は、生物の多様性を減らす方向性に働くとされている。中でも人類猿は、脆弱な生態系の指標とされているが、すべての種で絶滅の危機、あるいは非常な絶滅の危機に瀕していると分類されている。また、2007年、国際保護連合絶滅リスト史上初めて、珊瑚がそのリストに乗った。

バイオ燃料の危険と将来性

バイオ燃料は、化石燃料からのGHGを減らすための方法として広く注目を集めてきた。しかし、2007年4月、国連エネルギー(UN Energy)は、バイオ燃料は食料穀物面積を減

少させ、値段を上げ、食糧危機を促進するの
か；益々生態系や気候変動を悪化させるのでは
ないか；製造に多量の水を必要とすることか
ら、家族が使用する水を運搬しなければならない
女性や小農家、その地域の生活にどうい
う影響を与えるのか、など重要な疑問を呈する報告
書を出した。他にも、栄養を失った土地、化学
肥料や殺虫剤などは、人への健康に影響する可
能性がある、などの疑問が提示された。

このような状況の下で、WHOは、気候の変
動は、以下のような健康への影響があるとしま
した。

短期間の気象の激変は以下のような健康への被害を及ぼす

- 極端な熱波、寒冷は熱中症や低体温による死亡、あるいは心疾患や呼吸器疾患による死亡増加をもたらす。
- 都市部におけるよどんだ気候は、熱や大気汚染物質を封じ込め、スモッグを起し重大な健康被害を及ぼす。
- 豪雨や洪水、ハリケーンなども重要である。1990年には、約600,000人が気候に関連した自然災害で命を失っている。

温暖化の影響

- 気候の状態は、下痢やマラリアなど、水や蚊などによって媒介される感染症にも影響を与える。これらの病気にかかる季節を長くしたり、公衆衛生のインフラが不十分な地域へ広がる可能性がある。
- 熱波の頻度の増加。2003年のヨーロッパを襲った熱波は、前年の同時期より27,000人多い死亡をもたらした。
- 海水面が上昇することによる人口の移動が必要となる。世界の人口の半数以上は海から60km以内のところに住んでいる。特に影響を受けやすいのは、エジプトのナイルデルタ地域、バングラデシュのブラマプトラデルタ地域、モルディブやマーシャル島、ツバルな

どの小さな島々である。

- 早魃による飢饉。特に貧困国での影響が大きい。

大局的に見ると、公衆衛生は、安全な飲み水、十分な食料、安全な住居、そして良好な社会的条件によるところが大きい。特記すべきことは、これら健康への影響は公平ではなく、温室効果ガスの80%近くを排出し、その恩恵を受けてきた先進国よりも、温室効果ガス排出の恩恵を受けていないような貧しい国が最もこのような健康への悪影響を受けやすいのである。

WHOはこれらの気候変動による健康への問題に対し、次のようなことを、世界保健デーの目的としています。

気候変動による健康への影響に対するためのキャンペーンに人々が参加することを促し、国連の気候変動問題の中心にすえ、次のような点について提案する。

- 気候変化と健康、その他の開発部門、例えば環境、食料、エネルギー、交通などの連携を確立する。
- 気候変化による健康問題を啓発するためのイベントや活動を起こす。
- 気候を安定化させるための努力に、なるべく多くの人を取り込む。
- 政府や国際社会、市民社会、個人が活動に関わる可能性を高めるような啓発キャンペーンを起こす。
- 気候変動の影響を受けやすい、貧困で脆弱な人々、特にアフリカの人々を助ける。

上記の解説の中で、いくつかの具体的例を挙げています。

- 良く計画された都市部の輸送システムは、温室効果ガスの放出を減らし、同時に都市部の大気汚染や身体的な低運動の健康への影響を改善するだろう。
- 効率的な断熱剤を使った家屋はエネルギー消費と関連する温室効果ガスを減らすだろう

し、寒冷や熱による死亡を減らすだろう。また貧困国ではバイオ燃料の燃焼を減らし室内の空気汚染による影響を減少させる。

- 感染症対応や安全な水・衛生へのサービス、自然災害への対応のためのプログラム支援
- 緊急時の救援のコーディネーションなどについて、地球規模の連携と対応

以上のようなことを勉強してみて、自分の問題としては、以下のような点を考えてみました。

- 温室効果ガスの排出減少に寄与するための、なるべくエネルギー効率の良い方法を考える。例えば、なるべく公共交通と徒歩、自転車等を使うことによって、エネルギーだけで

なく、自身の健康増進にも寄与する。

- なるべく、食料自給率向上のため、地元産(あるいは国産)の食料を購入する。(少しでも自分で生産できるのがいいのでしょうか...)
- その他、省エネ・エコ重視になるべく努める。
- 貧困国への援助として何ができるかを考える。
- 感染症等、健康に関するサーベイランスの強化。
- 災害時も含めて、健康危機管理体制の強化。生活弱者への配慮。

さて、「気候変動から健康を守る」という視点に関して、少しは皆様の理解のお役に立てたでしょうか。

お 知 ら せ

暴力団追放に関する相談窓口

暴力団に関するすべての相談については、警察ではもちろんのこと、当県民会議でも応じており、専門的知識や経験を豊富に有する暴力追放相談委員が対応方針についてアドバイスしています。暴力団の事でお困りの方は一人で悩まず警察や当県民会議にご相談下さい。

●暴力団に関する困り事・相談は下記のところへ

受付 月曜日～金曜日(ただし、祝祭日は除きます)

午前10時00分～午後5時00分

TEL (098) 868 - 0893 なくそうヤクザ 862 - 0007 スリーオーセブン

FAX (098) 869 - 8930 (24時間対応可)

電話による相談で不十分な場合は、面接によるアドバイスを行います。

「暴力団から不当な要求を受けてお困りの方は

.....悩まずに今すぐご相談を(相談無料・秘密厳守!)」

財団法人 暴力団追放沖縄県民会議